



熊 野 東 中 通 信 NO.4



東中 HPQR コード

自律した生徒の育成 令和7年7月4日号

～思考、判断、実践～

熊野町立熊野東中学校 校長 草本 泰宏

〒731-4213 安芸郡熊野町萩原一丁目23番1号

TEL082-854-7111 e-mail: higasijh@piano.ocn.ne.jp

<http://kuma7111.ec-net.jp/>



熊中キャラクター
あずぽん

「命」について考える ～西日本豪雨災害を振り返って～

7月1日（火）から7月3日（木）まで、学年ごとに大雨・洪水災害に係る避難訓練を行いました。どの学年もそれぞれ真剣な目つきで無言移動を徹底し、3～4分程度で学年全体の避難を完了する姿は頼もしさすら感じました。今の熊野東中学校では、命を大切に、お互いを大切に、何事にも真剣に取り組める雰囲気が高まっているのだと嬉しく感じた避難訓練となりました。そのような真剣な思い、強い意思を訓練であってもしっかり行動等で表現できる皆さんの姿勢、動き、素晴らしかったと思います。

平成30年7月6日、のちに「平成30年7月豪雨」と命名された豪雨により、西日本を中心に多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、死者数が200人を超える甚大な被害となりました。私は仕事で府中町にいたのですが、異常な雨量に職場も閉鎖されることとなり、全員帰宅するよう指示が出たため、大慌てで車に飛び乗りました。そこからわずか約30分の帰路でしたが、車に打ち付ける雨にワイパーを動かしても前も見えず、命の危機、死の恐怖を感じました。「家族は皆、無事に帰って来ることができるだろうか?」、「一人暮らしの母は無事だろうか?」、大切な人の顔が浮かび、携帯電話もつながらない中、泣きたい思いを必死にこらえながら何とか家に着きました。家族に会えた時には抱き合っ

て無事を喜んだことを鮮明に覚えています。

あの日、近辺に住むほぼ全員が同じような経験をしています。帰り道に土砂に流された人、洪水に巻き込まれて海で発見された人、本当にたくさんの尊い命が失われることとなりました。熊野町でも多くの犠牲があり、その中に本校の2名の生徒が含まれていることを決して忘れてはなりません。皆さんと同じように、将来に向けて夢や希望をもって中学校生活を送っていた先輩が、突然未来を奪われた無念を思うと、皆さんにはこの事を学びとし、自分の、家族の、仲間の尊い命を大切にできる人であってほしいと心から思います。

今週は避難訓練等を通して、「命について考える一週間」として、特に命の尊さ、大切さを意識して行動できるよう努めてみてください。

大切な皆さんが全員そろって、元気で笑顔で本校を巣立ち、活躍する未来が待っていることを心から願っています。

